

IEEE GRSS(Geoscience and Remote Sensing Society)共催
平成24年度東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究会

“民生用合成開口レーダ(SAR)システムの開発と応用”

1. 開催日時: 平成25年 2月 5日(火)13:30-17:30
2. 場所: 東北大学電気通信研究所1号館N棟4階講堂
(<http://www.riec.tohoku.ac.jp/overview/access/index-j.html>)
3. プログラム:
 - 13:30-13:35 はじめに: 研究会代表者
間瀬 淳(九州大学 産学連携センター)
 - 13:35-14:10 陸域観測レーダ“PALSAR2”及び“Pi-SAR-L”の現状(仮題)
島田政信 (JAXA)
 - 14:10-14:45 衛星 SAR による災害監視の取組み
—平成 23 年台風 12 号災害、平成 24 年九州北部豪雨災害等—
吉川和男((株)パスコ 衛星事業部)
 - 14:45-15:20 Ground-Based SARによる崩落現場監視
佐藤源之(東北大東北アジア研究センター)

 - 15:20-15:50 休憩(30分)

 - 15:50-16:25 マルチチャンネル SAR 用信号アルゴリズムの開発(仮題)
諏訪 啓(三菱電機(株)情報技術総合研究所)
 - 16:25-17:00 合成開口レーダ搭載大型無人航空機の開発
Josaphat Tetuko Sri Sumantyo, and Koo Voon Chet
(千葉大学環境リモートセンシングセンター)
 - 17:00-17:35 リアルタイム画像レーダ“Live SAR”の地上および機上試験
犬竹正明(東北大通研)、近木祐一郎(福岡工大)、
池地弘行・間瀬 淳(九大産学連携センター)、
山鹿光紀(富士重工業(株))、Live SAR開発グループ

研究会終了後、懇親会(一般3000円, 学生1000円)

会場: 通研1号館1階談話室

研究会幹事: 犬竹正明